

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第7区分

【発行日】令和6年10月7日(2024.10.7)

【公開番号】特開2023-89783(P2023-89783A)

【公開日】令和5年6月28日(2023.6.28)

【年通号数】公開公報(特許)2023-120

【出願番号】特願2021-204508(P2021-204508)

【国際特許分類】

B 6 5 H 1/26(2006.01)

10

B 4 1 J 29/38(2006.01)

B 6 5 H 31/00(2006.01)

【F I】

B 6 5 H 1/26 C

B 4 1 J 29/38 301

B 6 5 H 31/00 Z

20

【手続補正書】

【提出日】令和6年9月27日(2024.9.27)

【手続補正1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

回転支点を介して回転可能なレバーと、

前記レバーの一端に位置し、開く方向の力を受けている閉状態の開閉カバーと係止して前記開閉カバーの閉状態を維持する係止部と、

前記レバーの他端に位置し水平方向に移動するキャリッジと接触して前記キャリッジの動力を受ける動力受け部と、を備え、

前記レバーは、前記キャリッジが前記動力受け部に接触して押すことで回転し、前記係止部による前記開閉カバーの閉状態の維持を解除する、

ことを特徴とする開閉カバーの自動オープン機構。

【請求項2】

請求項1に記載の開閉カバーの自動オープン機構において、

前記開く方向の力は、前記開閉カバーが開く側に自重モーメントを持つ構造で作られている、

ことを特徴とする開閉の自動オープン機構。

【請求項3】

40

請求項1又は2に記載の開閉カバーの自動オープン機構において、

前記開閉カバーの開閉状態を検知するセンサを備えている、

ことを特徴とする開閉カバーの自動オープン機構。

【請求項4】

請求項1から3のいずれか一項に記載の開閉カバーの自動オープン機構において、

前記レバーの前記動力受け部は、前記キャリッジに押されてスライドするスライド部である、

ことを特徴とする開閉カバーの自動オープン機構。

【請求項5】

50

請求項4に記載の開閉カバーの自動オープン機構において、

前記スライド部は前記キャリッジと接触する接触用凸部を有し、  
前記スライド部は、前記キャリッジに押される際に前記接触用凸部が前記キャリッジが  
有する接触用凹部に入った状態となる、  
ことを特徴とする開閉カバーの自動オープン機構。

【請求項 6】

前記キャリッジと、

前記キャリッジに搭載された印刷ヘッドと、

開く方向の力を受けている前記開閉カバーと、を備える印刷装置であって、  
請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の開閉カバーの自動オープン機構を備える、  
ことを特徴とする印刷装置。

10

【請求項 7】

請求項 6 に記載の印刷装置において、

前記キャリッジは印刷を実行する際に往復移動し、

前記自動オープン機構は前記キャリッジの前記往復移動の範囲外に位置する、  
ことを特徴とする印刷装置。

【請求項 8】

請求項 6 又は 7 に記載の印刷装置において、

前記開閉カバーが開くことにより、印刷物を受ける排出トレイ、印刷用媒体を収容する  
給送用カセットの少なくとも一方が操作可能になる、  
ことを特徴とする印刷装置。

20

【請求項 9】

請求項 6 から 8 のいずれか 1 項に記載の印刷装置において、

前記開閉カバーの閉状態を検知した場合、印刷を停止し、前記開閉カバーの閉状態を解  
除する動作を行う、

ことを特徴とする印刷装置。

【請求項 10】

請求項 6 から 8 のいずれか 1 項に記載の印刷装置において、

前記開閉カバーの閉状態の維持を解除する動作は、前記印刷装置のメインスイッチが O  
N された後で前記印刷の動作が開始する前である、  
ことを特徴とする印刷装置。

30

40

50